



愛西市公立保育所の 今後のあり方は

高松 幸雄 議員

統合化、民営化を進めていく 子育て部長

愛西市公立保育所4園と私立保育所、認定こども園の定員、入所率は、
子育て部長 佐屋中央保育園160人で70.6%、佐屋北保育園が120人で82.5%、永和保育園が150人で78.0%、佐織保育園が90人で95.6%、私立保育園8園と認定こども園1園を合わ

せた定員は1305人で102.2%、私立と公立を合わせた定員は1825人で95.8%。平成31年度には約400人の供給過剰が予想される。
子どもの減少や、保育士の確保が厳しい状況であるが、公立保育所の今後のあり方は、



▲佐屋中央保育園

子育て部長 愛西市保育所等基本方針案に保育の質を低下させないこと、保護者や子どもの不安を取り除くこと、公立保育所と民間保育所が公民協働の体制で取り組むことを盛り込んで統合化、民営化を進めていく。
愛西市をサービス提供区域とする老人デイサービスの数と定員、利用率及び今後のあり方は、
健康福祉部長 民間デイサービスは93施設で、市内にある20施設の定員は369人、利用率69.0%。公立は2施設で佐屋デイサービスセンターの定員は40人、利用率86.3%、佐織デイサービスセンターの定員23人、利用率71.7%である。現在、公立施設が民間施設の利用率に影響を与えている状況なので今は、民間譲渡や廃止を含めて利活用の検討をしていく。



▲LED化された防犯灯

市内にある8300個全ての防犯灯と照明灯がリース方式で9月までにLED照明になるが、その経緯とリース方式を導入した理由は、
市民協働部長 二酸化炭素の排出量を抑え、電力料金も約3300万円の削減効果がある。また、一斉にLED照明にすると初期投資が膨大になること、補助金の採択要件だったため、リース方式を導入した。

市内の防犯灯、道路照明がLED照明へ